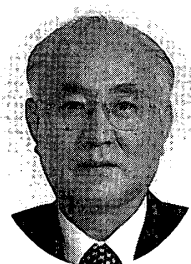


巻頭言

ICQ'05-Tokyo 開催にあたって



前田建設工業(株)
代表取締役会長 前田又兵衛

日本再生への新しきキックオフである。

戦後、欧米に追い付け追い越せの時代を経てのバブル経済、そして破綻と精算、長期不況による厳しき経営環境の中、企業は必死に再生策を模索し続けている。

一方、超優良品質の代名詞となった“Made in Japan”を誇りに世界を席卷したはずの日本が、由々しき重大事故の頻発である。

経済に奢り、品質に慢心し、手法に溺れ過ぎたのか、リストラにより技能の伝承が途絶えた故であろうか、日本は極東の小さな四季折々の美しい島、観光国になってしまうのであろうか！

いや、そうなることはない。

優秀なる技術、技能を持つ日本、謙虚に過去を見直し、新しき日本型の経営モデルを構築し、競争力を再生せねば日本の将来はない。

危機感をだいた有志達の提言が1999年12月「箱根宣言」として採択、2001年5月「日本ものづくり・人づくり 質革新機構」が設立され、緊急対策として活動を開始して早3年、日本復活に軸足を置いた現場第一線からの成果が纏められた。

この新たな息吹を世界へ発信する絶好の機会が巡ってくる。

*

来年9月13日から16日、東京にて品質国際会議 ICQ'05-Tokyo が開催される。

当会議は、1969年日本科学技術連盟 (JUSE) 主催により、東京で開催された国際会議を第1回として3年ごと米国品質協会 (ASQ)、欧州品質機構 (EOQ) とによって持ち回り制で開催されている品質界の世界

的なる交流会である。

そして、次の会議はわれわれの順番となった。

会議のテーマは、“Quality Evolution-Way to Sustainable Growth-”である。

ICQ'05-Tokyo では、世界の品質に関するエキスパートと経済界の代表者が一同に集い、未来への「持続的成長への道」を見いだすべく、バラエティーに富んだセッション、あるいはセミナーが予定されている。

将に、この会議は世界各国との情報交換の「場」であり、未来への課題を浮き彫りにする機会ととらえたい。

また、万国博覧会「愛・地球博」が、ICQ'05-Tokyo と同時期に開催される。

これらの「場」を通して、国際的な友好と親善を促進し、日本の品質管理の実情と日本が「品質の進化 (Quality Evolution)」へ向け、全力で取り組んでいる姿勢を世界に発信したい。

*

蛇足ながら去る9月7日、欧州品質機構 (EOQ) の会議がモスクワで行われ、Opening Plenary Session において ICQ'05-Tokyo の広報活動と日本の TQM を紹介する機会を賜った。

そこでは、ゴルバチョフ元大統領を始めとするロシアを中心とした参加者の「品質」への関心の高さと、現状への危機感を強烈に印象づけられた。

世界の「品質」は、今確実に進化を遂げている。

日本は、謙虚に他国の実情を学ばねばならない。

そのためにも、来る ICQ'05-Tokyo には一人でも多くの方々が集うことを期待して止まない。